



▼/ *▼*/ *▼*/ *▼*/ *▼*/ *▼*/ *▼*/ *▼*/

明日から使える!? 商売繁盛のヒント

サービスコンテンツプランナー 小島章裕

《 vol.19 》

レスキューフードボックス

一人暮らしで病気したら…。

結婚する前、一人暮らしを6年以上していました。風邪を引き、寝込む。金曜日の夜に会社から帰宅して月曜日の朝出勤するまで一歩も外出せず、自宅で寝込んでいることもありました。ご経験のある方も多いのでは？ 特に普段自炊をしない人は、冷蔵庫にも食べる物がなく、本当に困った経験もあるでしょう。そこで、こんなサービスを考えてみました。事前に選んだ食べ物が依頼したら、すぐ届く。これは心強いです。

レスキューフードボックス

- (1) 常温保存ができる
- (2) レンジとお湯で食べられる
- (3) 栄養価を考えた3日分(9食)がセット

もし、一人暮らしの方が病気で寝込んだ時、上記の3つの条件を満たした食品が注文後、1時間後に届けられたら、心強くないですか？ (1)は、普段、外食かコンビニ弁当が多く、冷蔵庫がない方もいますので、常温保存が必須。

(2)は、調理器具を持たず、料理をしない人が前提なので、レンジで温めるか、お湯をかけるかで食べられます。(3)は、朝、昼、夜の食べ分けができるようセットされ、飽きないように工夫されています。

主にレトルト食品やパックご飯、インスタント食品がメインになりますが、サプリメントもセットされています。また、飲み物も水やお茶のほか、スポーツ

ドリンクも含まれています。もちろん、好みもありますので、(病気をする前) 事前に自分好みにセレクトしておき、万が一の時に電話かメールで依頼すると1時間以内に届けてくれます。依頼先は、ご近所のドラッグストア。ドラッグストアが食べ物の「救急食箱」を提供します。ドラッグストアなら常温で保存できる食品をたくさん品揃えしており、サプリメントや処方箋による薬も提供できますから! 「レスキューフードボックス」は注文者の玄関に置いておき、店員「今、お届けいたしました」と電話かメールで注文者に通知します。通知を受けた注文者は人に会わずに「レスキューフードボックス」を受け取れます。支払いは後日店舗へ行き、済ませます。この仕組みなら、お客側は利用した時だけお金がかかるので、気軽に登録ができます。ドラッグストア側は、時々、セレクト品を吟味し直すなんてサービスで顧客との接点を作ると来店頻度が高まるかもしれませんね。かかりつけ薬局としても利用してくれる可能性も高まります。

-

★アイデアコンセプト★
「万が一サービス」を創る

-



《**アイデアの解説**》 平常時のサービスには、対極に非常時のサービスがあります。自然災害などの大規模な非常時だけでなく、日常生活における個人的な「病気」「事故」などの非常時もあります。横軸に「平常時」「非常時」、縦軸に「大規模」「個人」のマトリックスを作り、自店の商品を分類してみてください。「この商品はこの時にも提供できそう!」という固定概念を覆す発見があるかもしれません。

※本コラムの内容は作者の意見です。各人の責任においてご利用ください。本件により生じる損害・トラブル等について、一切責任は負いません。

※本コラムの無断転載を禁じます。